

作成日：2006年04月01日

改訂日：2016年07月01日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称：ショーボンド 瞬乾専(主剤)
 会社名：ショーボンドマテリアル株式会社
 住所：埼玉県川越市芳野台2-8-10
 担当部門：品質保証課
 電話番号：049(225)5611 F A X : 049(225)5616
 緊急連絡先：品質保証課 電話番号：049(225)5611
 整理番号：瞬乾専(主剤) - 04

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性：	引火性液体	区分外
健康に対する有害性：	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	標的臓器/全身毒性(単回暴露)	分類できない
	標的臓器/全身毒性(反復暴露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性：	水生環境急性有害性	区分1
	水生環境慢性有害性	区分1

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 警告

危険有害性情報： 皮膚刺激
 眼への刺激
 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

- 予防策： 使用前に取扱い説明書を入手する。
 取扱う前にすべての安全注意を読み理解する。
 容器を密閉する。
 粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避ける。
 取扱い後は汚染箇所をよく洗う。
 汚染された作業衣を作業場から出してはならない。
 (適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避ける。
 保護手袋を着用する。
 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
- 対応： 気分が悪い時は、医師に連絡する。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。
 漏出物を回収する。
 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗う。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。
 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受ける。
 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受ける。
- 保管： 国/地方の規則に従って保管する。
- 廃棄： 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務委託し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名 (成分)	化審法	CAS No.	濃度又は 濃度範囲 (含有量%)	P R T R法	労働安全衛生法 通知物質57条2
ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂	7-1279	25068-38-6	40～50	該当しない	該当しない
二酸化チタン	1-558	13463-67-7	1～10	該当しない	政令番号191

4. 応急措置

- 一般的な措置： 気分が悪い時は、医師に連絡する。
- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズ着用の場合は容易であれば外して洗浄する。
 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合： 付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。
 汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。汚染した靴は捨てる。
 再使用する場合は汚物を完全に除去する。
 多量の水と石鹸で洗う。
 直ちに医師に連絡する。
 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受ける。
- 吸入した場合： 呼吸が困難な場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 気分が悪い時は、医師に連絡する。
- 飲み込んだ場合： 直ちに水で口をすすぎ、医師の診断を受ける。
- 応急措置をする者の保護 応急措置をする者の保護

5. 火災時の措置

- 消火剤： 泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用する。
- 使ってはならない消火剤： 水は冷却の目的には用いてもよいが、消火の効果はない。
- 特有の危険有害性： 不完全燃焼すると濃い煙が発生する。
消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。
- 特有の消火方法： 関係者以外は安全な場所に退去させる。
危険を避けられれば燃焼源の供給を止める。
消火水の下水への流入を防ぐ。
- 消火を行う者の保護： 防火服 / 防災服 / 耐火服を着用する。
低温断熱手袋 / 顔面保護具 / 保護眼鏡を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 回収が終わるまで十分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。
こぼれた場所はすべりやすいため注意する。
安全に対処できる場合は漏洩を止める。
- 環境に対する注意事項： 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
下水、排水中に流してはならない。
- 回収・中和 ならびに 封じ込み及び浄化の方法・機材： 不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。
掃き集めて、容器に回収する。
回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。
- 二次災害の防止策： 漏出物を回収する。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

- 技術的対策： (取扱者の暴露防止)
粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避ける。
(火災・爆発の防止)
熱源/火花/炎/加熱面から遠ざける。 - 禁煙。
- 局所排気・全体換気： [8.ばく露防止及び保護措置]に記載の局所排気、全体換気を行なうこと。
- 注意事項： 皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。
蒸気は、めまいや窒息を引き起こすおそれがある。
吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。
- 安全な取扱い注意事項： 使用前に取扱い説明書を入手する。
取扱う前にすべての安全注意を読み理解する。
保護手袋を着用する。
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。
取扱中は飲食、喫煙してはならない。
- 接触回避： 「10.安定性及び反応性」を参照。

保管：

- 技術的対策および保管条件： 容器を密閉する。
涼しい所に置く。日光を避ける。
国/地方の規則に従って保管する。
- 混触禁止物質： 「10.安定性及び反応性」を参照。
- 容器包装材料： 密閉可能な容器。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。
洗眼設備を設ける。
手洗い/洗顔設備を設ける。

許容濃度

管理濃度： 設定されていない。

許容濃度： (酸化チタン(IV)) ACGIH(1992) TWA: 10mg/m3 (下気道刺激)

保護具

呼吸器の保護具： 有機ガス用防毒マスク 送気マスク

手の保護具： 保護手袋

眼の保護具： 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具： 化学薬品が浸透しにくい作業衣を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗う。
汚染された作業衣を作業場から出してはならない。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。
取扱い後はよく手を洗う。
休憩、終業時は手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状等： 揺変状
色： 白色
臭い： 微臭
pH： データなし
融点・凝固点： データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲： データなし
引火点： 190 以上
燃焼または爆発範囲： データなし
蒸気圧： データなし
蒸気密度： データなし
比重： 1.4g/cm3
溶解度： 水に不溶
オクタノール/水分配係数： データなし
自然発火温度： データなし
分解温度： データなし
その他情報： データなし

10. 安定性及び反応性

安定性： 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
反応性： データなし
避けるべき条件： データなし
混触危険物質： 酸、強酸、塩基、強塩基、酸化性物質、強酸化性物質、還元性物質、強還元性物質
危険有害な分解性生物： データなし

11. 有害性情報

局所効果

皮膚腐食性/刺激性成分データ
(酸化チタン(IV)) ヒト0.3mg/3D-I ; MILD

発がん性

(酸化チタン(IV)) IARC-Gr.2B；ヒトに対して発がん性があるかもしれない。
 (酸化チタン(IV)) ACGIH-A4(1992)：ヒト発がん性因子として分類できない。

12. 環境影響情報

環境有害性

水生毒性情報

水生生物に非常に強い毒性
 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

水生毒性

(酸化チタン(IV))
 甲殻類(オオミジンコ) EC50 > 1000mg/L/48hr (AQUIRE, 2003)
 (ビスフェノールAエポキシ樹脂)
 甲殻類(オオミジンコ) EC50=1.7mg/L/48hr (CERI・NITE, 2006)

水溶解度

(酸化チタン(IV))
 溶けない(HSDB, 2004)
 (ビスフェノールAエポキシ樹脂)
 0.041mg/L (CERI・NITE有害性評価書(暫定版), 2006)

残留性・分解性

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)
 BODによる分解度：0%(既存化学物質安全性点検データ)

生体蓄積性

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)
 BCF <= 42(Check & Review, Japan)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

(適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避ける。
 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
 容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

国内規制

陸上輸送： 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法による。
 海上輸送： 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
 航空輸送： 航空法に定められている運送方法に従う。
 海洋汚染防止法： 有害液体物質(X類)：ビスフェノールAエポキシ樹脂
 有害液体物質(Z類)：酸化チタン(IV)

国連分類： クラス9

国連番号： 3082

15. 適用法令

消防法： 該当しない
 毒物及び劇物取締法： 該当しない
 労働安全衛生法 通知物質57条2(通知対象物)： 二酸化チタン (政令番号191)
 施行令第18条 名称を表示すべき有害物： 該当しない
 有機溶剤中毒予防規則： 該当しない
 化学物質管理促進法： 該当しない
 化審法： ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂 第2種監視化学物質(通し番号916)

労働基準局長通達H5.5.17基発第312の2

「変異原性が認められた化学物質による健康障害を防止するための指針」：
ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂

16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準：(日本接着剤工業会)室内空気質汚染対策のための自主管理規定
JAIA - 007588 F

注意事項：

本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したものです。必ずしも充分とはいえませんので取扱いには充分注意して下さい。
新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。
本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

- 1) 化学物質等安全データシート(SDS) - 第1部: 内容及び項目の順序
(JIS Z 7250:2010)
- 2) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 3) 原材料/製品メーカーSDS

作成日: 2006年04月01日

改訂日: 2016年07月01日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称: ショーボンド 瞬乾専 (硬化剤)
 会社名: ショーボンドマテリアル株式会社
 住所: 埼玉県川越市芳野台2-8-10
 担当部門: 品質保証課
 電話番号: 049(225)5611 F A X : 049(225)5616
 緊急連絡先: 品質保証課 電話番号: 049(225)5611
 整理番号: 瞬乾専 (硬化剤) - 04

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性:	引火性液体	区分外
健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	標的臓器/全身毒性(単回暴露)	分類できない
	標的臓器/全身毒性(反復暴露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性:	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル: 該当しない

注意喚起語: 該当しない

危険有害性情報: 該当しない

注意書き

- 予防策： 使用前に取扱い説明書を入手する。
熱源/火花/炎/加熱面から遠ざける。 - 禁煙。
容器を密閉する。
最初の容器中でのみ保管する（他の容器に移し替えてはならない）。
眼、皮膚、または衣類に付けない。
取扱い後は汚染箇所をよく洗う。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
涼しい所に置く。日光を避ける。
- 対応： 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受ける。
- 保管： 国/地方の規則に従って保管する。
換気の良い場所で保管する。
- 廃棄： 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、
業務委託し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名 (成分)	化審法	CAS No.	濃度又は 濃度範囲 (含有量%)	P R T R法	労働安全衛生法 通知物質57条2
ポリチオール	非公開	非公開	40～50	該当しない	該当しない

4. 応急措置

- 一般的な措置： 気分が悪い時は、医師に連絡する。
- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズ着用の場合は容易であれば外して洗浄する。
眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合： 付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。
衣類にかかった場合：服を脱ぐ前に、直ちに汚染された衣類および皮膚を多量の水で洗う。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受ける。
- 吸入した場合： 呼吸が困難な場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は、医師に連絡する。
- 飲み込んだ場合： 無理に吐かせてはならない。
応急措置をする者の保護 適切な換気を確保する。

5. 火災時の措置

- 消火剤： 泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用する。
- 使ってはならない消火剤： 水は冷却の目的には用いてもよいが、消火の効果はない。
- 特有の危険有害性： 不完全燃焼すると濃い煙が発生する。
消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。
- 特有の消火方法： 関係者以外は安全な場所に退去させる。
危険を避けられれば燃焼源の供給を止める。
消火水の下水への流入を防ぐ。

消火を行う者の保護： 防火服 / 防災服 / 耐火服を着用する。
低温断熱手袋 / 顔面保護具 / 保護眼鏡を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： 回収が終わるまで十分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。
こぼれた場所はすべりやすいため注意する。
関係者以外は近づけない。

環境に対する注意事項： 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
下水、排水中に流してはならない。

回収・中和 ならびに 封じ込み及び浄化の方法・機材：
不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。
掃き集めて、容器に回収する。
回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

二次災害の防止策： 漏出物を回収する。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

技術的対策： (取扱者の暴露防止)
粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避ける。
必要な個人用保護具を使用する。

(火災・爆発の防止)
熱源/火花/炎/加熱面から遠ざける。 - 禁煙。
粉砕/衝撃/摩擦のような乱暴な取扱いをしてはならない。

局所排気・全体換気： [8.ばく露防止及び保護措置]に記載の局所排気、全体換気を行なうこと。

注意事項： 皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。
蒸気は、めまいや窒息を引き起こすおそれがある。
吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

安全な取扱い注意事項： 使用前に取扱い説明書を入手する。
取扱う前にすべての安全注意を読み理解する。
保護手袋を着用する。
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。
取扱中は飲食、喫煙してはならない。

接触回避： 「10.安定性及び反応性」を参照。

保管：

技術的対策および保管条件：
容器を密閉する。
涼しい所に置く。日光を避ける。
国/地方の規則に従って保管する。

混触禁止物質： 「10.安定性及び反応性」を参照。

容器包装材料： 最初の容器中でのみ保管する（他の容器に移し替えてはならない）。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。
洗眼設備を設ける。
手洗い/洗顔設備を設ける。

許容濃度

管理濃度： 設定されていない。
許容濃度： 設定されていない。

保護具

呼吸器の保護具： 有機ガス用防毒マスク 送気マスク
手の保護具： 保護手袋
眼の保護具： 側面シールド付安全メガネを着用する。
皮膚及び身体の保護具： 化学薬品が浸透しにくい作業衣を着用する。

衛生対策

眼、皮膚、または衣類に付けない。
妊娠中/授乳期中は接触を避ける。
取扱い後は汚染箇所をよく洗う。
この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状等： 揺変状
色： 黒色
臭い： メルカプタン臭
pH： データなし
融点・凝固点： データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲： データなし
引火点： 120 以上
燃焼または爆発範囲： データなし
蒸気圧： データなし
蒸気密度： データなし
比重： 1.4g/cm³
溶解度： 水に不溶
オクタノール/水分配係数： データなし
自然発火温度： データなし
分解温度： データなし
その他情報： データなし

10. 安定性及び反応性

安定性： 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
反応性： データなし
避けるべき条件： データなし
混触危険物質： 酸、強酸、塩基、強塩基、酸化性物質、強酸化性物質、還元性物質、強還元性物質
危険有害な分解性生物： データなし

11. 有害性情報

エポキシ樹脂硬化剤による皮膚障害を起こす恐れがある。

12. 環境影響情報

データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。
下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

14. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

陸上輸送： 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法による。
海上輸送： 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送： 航空法に定められている運送方法に従う。
国連分類： 該当無し
国連番号： 該当無し

15. 適用法令

消防法：	該当しない
毒物及び劇物取締法：	該当しない
労働安全衛生法 通知物質57条2(通知対象物)：	該当しない
施行令第18条 名称を表示すべき有害物：	該当しない
有機溶剤中毒予防規則：	該当しない
化学物質管理促進法：	該当しない
化審法：	該当しない
労働基準局長通達S51.6.23基発第477号 「エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害の防止について」：	ポリチール

16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準：(日本接着剤工業会)室内空気質汚染対策のための自主管理規定
JAIA - 007588 F

注意事項：

本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したのですが、必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。
新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。
本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

- 1) 化学物質等安全データシート(SDS) - 第1部:内容及び項目の順序
(JIS Z 7250:2010)
- 2) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 3) 原材料/製品メーカーSDS